特別座談会

全国高等学校ビジネスアイディア甲子園“先輩”からのアドバイス

高校生が自由な発想で新しい商品・サービスやビジネスモデルを提案する「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」（大阪商業大学、毎日新聞社主催）の第12回大会の最終審査会が12月14日、東大阪市の大阪商業大学で開かれる。それを前に、同大が実学教育の一環としてビジネスアイディア甲子園をレベルアップした形で学内で開いている「大商大ビジネス・アイディアコンテスト」の学長賞受賞者ら4人に集まってもらい、谷岡一郎学長とともにビジネスアイデアを考える意味や楽しさについて語ってもらった。



世界での活躍 夢見て 知恵を絞る楽しさ この自信、次の糧に

学長　高校生向けに2002年から「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」を行い、03年からは学内で「大商大ビジネス・アイディアコンテスト」を開催しています。起業家精神あふれる人材を育成するのが目的です。みなさんはそのコンテストで入賞されました。取組んで感じたことや自分自身の考え方の変化について話してください。

岡本理沙さん　フィットネスクラブのモチベーションの維持のため、カロリーを消費すれば割引が受けられるシステムを考案しました。自転車型トレーニングマシンによる発電などで売電し、割引分に充当します。

田代翔太さん　お年寄りの交通事故を防ぐ目的で、蛍光ワッペンを考案

しました。発想して、実際に商品にしてもらえるにはどうすれば？と考えるのが楽しかったです。

山口綾乃さん　「ラグビーのまち」東大阪のPRキャラクター「トライくん」といっしょに撮影できるプリクラを考えました。プレゼンテーションのやり方や企画書の書き方などを教えてもらい、とても勉強になりました。

田中伸我さん　アンケートを基に、マッチのように着火できる線香を考えました。昨年度のコンテストで学長賞をいただいたのをきっかけに今回のコンテストでは開催運営リーダーも務め、周りといっしょにつくり上げる楽しさも学びました。

学長　ビジネス・アイディアコンテストで入賞したことをきっかけに、みなさんはこれからはどのようなことをしようと考えていますか。

岡本　学長賞を受賞して海外の大学生とのシンポジウムにも参加させてもらいました。今後は海外留学の経験も生かし、世界で企業人として活躍できるように頑張りたいと思います。



大阪商業大学
谷岡 一郎 学長

総合経営学部教授（応用社会調査論）。

主な著書に「ツキの法則」（PHP出版）、「ギャンブルの社会学」（世界思想社）など。

田代　企業と連携して、私のアイデアを商品として実現させたいという強い思いがあります。それを具体的に進めていきたいです。

学長　デザインについて、使い手が自分のデザインと呼べるモノにすることはできないでしょうか？

田代　デザイナーさんを想定していましたが、自分でデザインすることも考えてみたいですね。

学長　山口さんは１年生。過去に学長賞を２回受賞した学生もいるので、これからも目標をさだめて頑張ってほしいですね。



岡本 梨沙さん
総合経営学部商学科３年

第11回学長賞（2013年度）
「脂肪もコストも燃焼!!　フィットネスクラブ」

第９回特定非営利活動法人「東大阪地域活性化支援機構」理事長賞受賞（2011年度）



田中 伸我さん
総合経営学部経営学科３年

第10回学長賞（2012年度）
「着火線香」

大商大アントレ・ラボに入居

山口　まだまだ、学生として学ばなければいけないことがたくさんあり、学業に専念するつもりですが、そのうえでアイデアを考える裾野を広げ、次回も挑戦したいですね。

学長　大学では大学の枠を超えてベンチャースピリットを応援しようと、学内に起業家向けのインキュベーション施設「大商大アントレ・ラボ」を設けています。田中さんはそこを利用していますね。

田中　ラボで自分のアイデアの商品化を考えています。自分自身にノルマを課し、夏休み中も60くらいのアイデアを考えました。考えつく度にメモを取り、自宅で詳細を調べています。将来はライセンスビジネスの会社をおこしたいと思っています。

学長　アイデアを考えるきっかけとなり、役に立った講義は？。

山口　古沢昌之先生の「OBPアントレプレナー論」です。企画書の書き方や、コンテンツビジネスなどを学べました。講義で自分のアイデアを発表する機会もあり、発表を通じてアドバイスもいただけました。

田代　粂野博行先生のゼミで、「中小企業論」を学んでいる際に、アイデアを紹介するDVDを見せていただいたのが大きな刺激になりました。

田中　私も粂野ゼミです。フィールドワークで中小企業を回りました。いろいろな企業の方とお会いし、問題解決の協力をしていただき、大きく成長できたように思います。

学長　日本の会社の95％は中小企業です。中小企業のリーダーはすべての業務をこなさなければならない。何より、人がついてくる人物でないと務まらない。そういう人と話せたというのは、とてもいい経験でしたね。

岡本　私は、柴田孝先生の「貿易論」です。講義で太陽光発電の仕組みや発電量のこと、さらに固定価格買い取り制度のことを具体的に知り、スポーツジムで発電するというアイデアが生まれました。

学長　最後に「全国高等学校ビジネスアイディア甲子園」に挑戦する高



田代 翔太さん
総合経営学部経営学科４年

第11回東大阪商工会議所会頭賞
「オシャレ蛍光ワッペン」

旭電機化成と連携、商品化にむけ進行中。



山口 綾乃さん
総合経営学部商学科１年

第11回審査員特別賞
「トライくんとプリクラ撮ろう！」

第11回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園（2012年度）に応募。

校生へのメッセージを。

田中　この世界にはまだまだ不満や不自由がいっぱいあります。それを改善できる商品を考えてください。

岡本　提案は力試しの、いい機会。挑戦するとこで自信が生まれ、また次のステップを踏む力となります。がんばってください。

田代　一生懸命考えたことは必ずモノになると、自信を持って取組んでください。

山口　私も高校生のとき応募しました。アイデアを出しまとめ上げることは大変ですが、アイデアを考えていると知らないうちにあらゆる方面に目が向き、伸びていることを実感します。ぜひ、トライしてください。